

平成25年度 政務活動費 先進都市調査報告書

| | |
|-----------------------|---|
| 会派名 | 新緑会 |
| 議員名 | 早坂 博 羽立 秀光 |
| 調査実施年月日 | 平成25年11月20日(水) |
| 調査先 自治体名等 | 愛知県 岡崎市 |
| 調査項目 | 「新エネルギーシステム設置等補助金」について |
| 調査目的 | 新エネルギーシステム設置等補助金の運用状況等についての調査 |
| 報告内容 実施したこと | <p>1 視察先(市町村)の概要 人口: 372,472 人 行政面積: 387.24 km²</p> <p>2 視察内容 「新エネルギーシステム設置等補助金」について</p> |
| 感想(まとめ) 本市へ生かせること等 | <p>岡崎市では、地域温暖化対策実行計画を策定し、地球温暖化の防止、低炭素社会の実現を目指し様々な取り組みを行っています。</p> <p>その取り組みの1つとして、新エネルギーシステムを導入する住宅への補助金を交付しています。新エネルギーとして、「住宅用太陽光発電システム」と「家庭用燃料電池コージェネレーションシステム」の2つのシステムに対し補助金を交付しています。</p> <p>住宅用太陽光発電システム 条件: 上限8万円、自らが住むために設置すること。 太陽電池の出力により補助金額を設定。 予算額: 9,600万円(平成25年度)</p> <p>家庭用燃料電池コージェネレーションシステム 条件: 1世帯1台5万円、自らが住むために設置すること。 予算額: 400万円(平成25年度)</p> <p>上記のとおり、岡崎市では平成25年度だけで1億円の予算を組んでおり、地球温暖化防止への取り組みに力を入れていることを実感しました。</p> <p>なお、調査を進めていく中で、財政状況が厳しくなり、いつまでも予算を確保し続けるのは難しい状況であるとのこと。また、無期限に補助金を交付するのは難しく、いずれの終期の設定について検討が必要になっているとのことでした。</p> <p>本市でも地球温暖化防止の取り組みは必要であり、新エネルギーへの支援は必要と思われませんが、多額の財源が必要となります。そのため、本市で補助金を導入する場合には、交付条件を厳選するなど、持続可能な仕組みづくりを工夫する必要があると思いました。</p> |